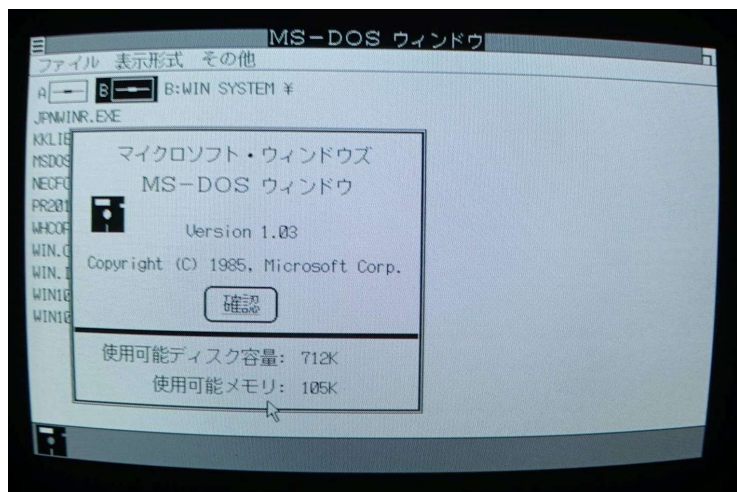


# レトロPCライフ

25年  
**10月号**

## Windows1.0

10月14日にととうWindows10の無償サポートが終了しましたが、このたび1986年に発売されたMS-Windows Version1.0 PC-9801版のディスクを入手したので、PC-9801RX2で起動してみました。MS-DOS5.0以降登場したDOSシェルに毛が生えた感じです。まだWin3.1のようにウィンドウを重ねて自在に動かすことはできません。裏面でインストールについて解説します。



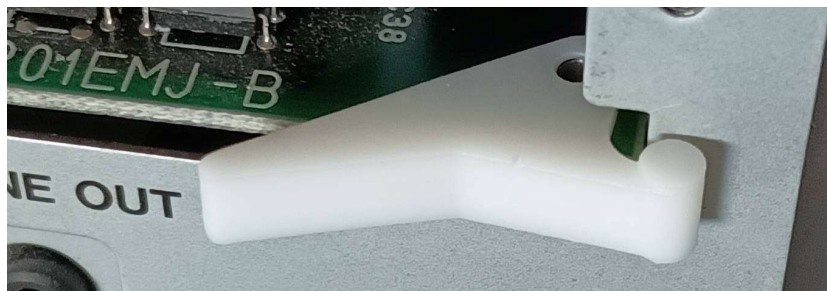
MS-Windows1.0



PC-9801RX2 CPU:80286 10/12MHz、RAM 640kB、HDD非搭載(オプション)

## Cバスのアレ

Cバス用のプラスチックレバー(新品)を販売開始しました。固定用のピン付き。ヤフオクやAmazonで販売中です。



公式ウェブサイト  
<https://x86lab.jp>

このたびはx86ラボをご利用いただきありがとうございます。  
x86ラボは個人事業としてレトロPC関連の製品開発・販売、中古品売買、イベントやSNSでの広報活動を行っています。  
ヤフオクやメルカリに出品中！ x86ラボで検索

古物商許可：福岡県公安委員会 第901082510004号

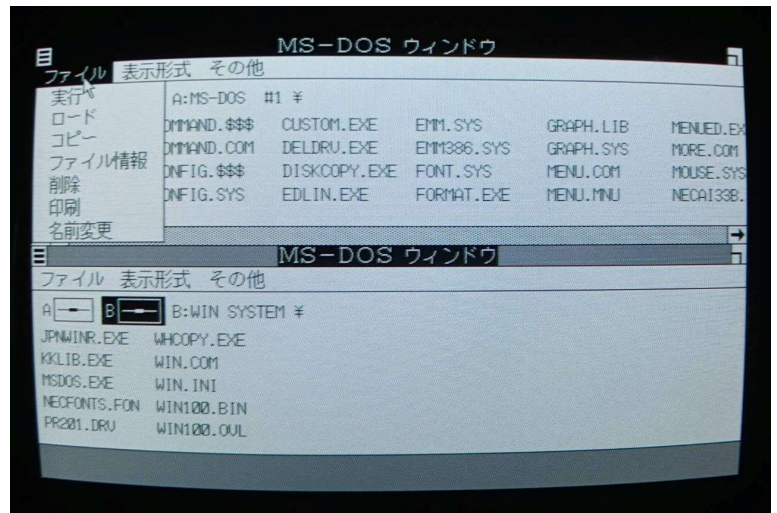
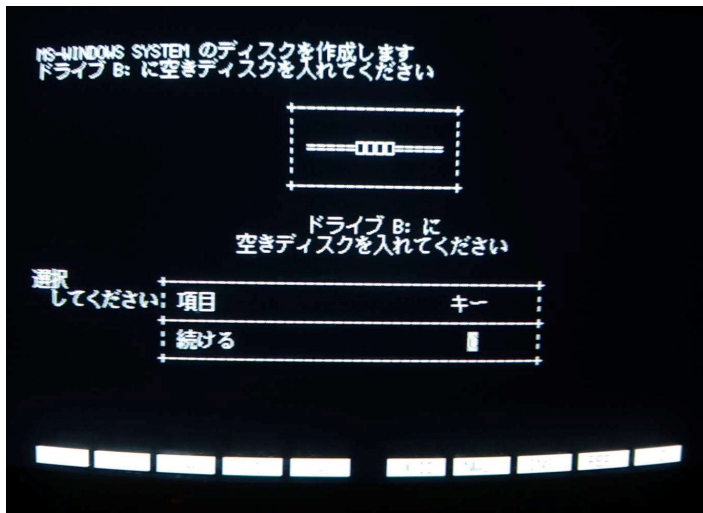


Amazonでの販売を開始しました。  
Cバスユニバーサル基板や交換用  
部品セット、その他周辺機器など  
どんどん製品を追加していきます  
のでよろしくお願いします。



## 40年前に役立つ!? Windows1.0のインストール方法

Win1.0はFDインストールのため、ブランクフロッピーディスクを2枚用意し、そこにセットアップディスクの内容を展開、起動する形となります。またWin3.1同様、Windowsという名のMS-DOSソフトウェアであり、インストールおよび実行にはMS-DOSが必要です。



インストール手順（FDDを2ドライブ搭載したPC-9801実機の場合）

- ①AドライブからDOSを起動します。今回はMS-DOS3.3Cを使用しました。
- ②DOSのディスクを抜いてA,Bドライブ両方空けます。
- ③AドライブにMS-Windows1.0 setup disk ①を、Bドライブにフォーマット済みブランクディスクを挿入します。
- ④A>**SETUP B: /M**と入力します。このMはマニュアルインストールのスイッチで、オートインストールではなぜかマウスが有効にならないためこれが必要です。
- ⑤以降マニュアルインストールの選択画面やディスク入れ替えの指示が続くので、画面に従ってキーボードを叩いたりフロッピーディスクを入れ替えます。
- ⑥セットアップ完了後、作成したWin1.0ディスク①がカレントディレクトリの状態で**win**と打つとMS-Windows Version1.0が起動します。

なお起動ロゴや起動音はありません。

世界中で普及しているOSのバージョン1.0というのは感慨深いものがあります。

※Windowsは米国Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における登録商標です。

※Windows1.0の米国版リリースは1985年ですが、日本語版(PC-98版)は1986年発売です。